

概要版



浪江町復興計画

【第三次】

夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち



[令和〇年〇月]



浪江町

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の目的

浪江町復興計画【第三次】（以下「復興計画【第三次】」という。）は、平成23年3月11日に発生した国内観測史上最大規模の巨大地震とそれに伴う津波、更には東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）の原子力発電所事故（以下「原発事故」という。）の被害という未曾有の複合災害により、甚大な被害を受けた本町が復旧・復興を実現していくための道標とするものです。

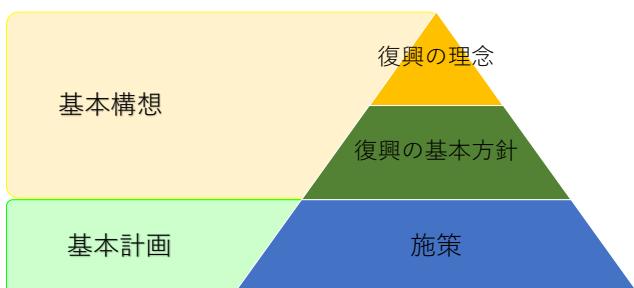
東日本大震災（以下「震災」という。）から10年の節目を迎えた今、町をとりまく状況は大きく変化してきていることから、これまでの復興の進捗や行政の取組を検証し、将来にわたって安心して豊かな生活を送れる「持続可能なまち」の実現に向けた町の姿を描いていくことが必要です。

これらの基本的な認識のもと、町をとりまく状況の変化や課題に柔軟に対応するため、復興計画【第三次】を策定します。

2 計画の構成と期間

（1）計画の構成

本計画は、浪江町の最上位計画であり、基本構想及び計画で構成されます。



ア 基本構想

基本構想は、「復興の理念」と、これを達成するための「復興の基本方針」を定めるものです。

イ 基本計画

基本計画は、基本構想を実現するための施策を定めるものです。

（2）計画の期間

基本構想の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。基本計画は社会情勢の変化に柔軟に対応するため、計画期間を前期と後期に区分し、それぞれ5年間とします。

3 将来人口の目標

平成28年3月に町が策定した、「まち・ひと・しごと創生 浪江町人口ビジョン」において、2035年（令和17年）に約8,000人程度の目標人口を掲げています。

第2章 復興の理念

1 理念

復興の理念

夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち
～なかよく みんな えがおの 花咲くまち なみえ～

2 理念の柱

みんなの想いを一つに、復興を実現するまち



先人から受け継いできた“ふるさと”なみえを再生します。そして、震災から得た教訓をまちづくりに活かし、町民の想いに応える復興を実現します。

紅房桜

花言葉：想いを託します。

ひとの縁を大切に、関わる人が増え、調和するまち



帰還されている町民、これから帰還する町民、すぐには帰還できない町民、新たに転入された町民、町で仕事をする方、町を訪れる方など、町に関わる全ての方を大切に、町に関わる方が増え、調和するまちづくりを進めます。

コスモス

花言葉：調和

先進的な取組で、夢と希望の未来を創るまち



震災で町は多くの課題を抱えています。町は新たな技術による課題解決の舞台となり、日本が直面する社会課題を解決するモデルとなる先進的な取組に積極的に挑戦します。

トルコギキョウ

花言葉：希望

第3章 復興の基本方針

I 夢と希望のある産業と仕事づくり

先人から受け継いできた農山漁村の風景を再生するとともに、生産者が自信と誇りをもって働く環境づくりにより、農林水産業が盛んなまちを目指します。

福島イノベーション・ココスト構想（以下「イノベ構想」という。）と連携しながら、新たな産業と雇用の創出を図るとともに、商工業の振興や観光交流の推進を図り、活気とにぎわいのあるまちを目指します。

II 未来を担う人づくり

出産・子育て支援の充実や、豊かな学びの環境づくりにより、子どもたちの明るい笑顔のあふれるまちを目指します。

芸術や文化に触れあえる機会の創出や、スポーツに親しめる環境づくりにより、生きがいを持って暮らせるまちを目指します。

被災の記憶と教訓を次の世代や世界に向けて発信し、復興を通じた交流が盛んなまちを目指します。

III 帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり

帰還困難区域全域の避難指示解除に向けて、全ての町民が生活できる環境の再生を目指します。

上下水道や道路などのインフラ整備を推進するとともに、まちの顔である駅周辺を核とした中心市街地整備を推進し、快適で利便性の高いまちを目指します。

震災から得た教訓を生かした防災体制の強化や、警察署や消防署等の関係機関との連携を推進し、安全に暮らせるまちを目指します。

再生可能エネルギーや水素などの新エネルギーの導入や、効率よくエネルギー資源を活用する取組を推進することにより、原子力に依存せず二酸化炭素の排出量実質ゼロの環境にやさしいまちを目指します。

IV 健康と福祉のまちづくり

総合的な保健サービスの提供や、地域医療体制の充実に努めることにより、心身ともに健康で元気なまちを目指します。

介護・福祉サービスの充実に努めることにより、高齢者や障がいのある人を含め、全ての町民がふれあい、支えあい、地域社会の中で安心して活動できる、思いやりのあふれるまちを目指します。

放射線による健康上の不安解消に努めることにより、安心して暮らせるまちを目指します。

V 絆の維持と持続可能なまちづくり

生活再建の支援の継続や、まちとの絆づくり、復興の様子等の情報発信に努めることにより、町民との絆を大切にするまちを目指します。

本町への興味関心からはじまり、交流や体験を通して、移住・定住の取組を推進し、町内の居住人口が増加していくまち、住んでみたいまちを目指します。

行政区等コミュニティ団体の活動の活性化を図るとともに、行政と町民が協働でまちづくりを推進し、町民が主役となるまちを目指します。

効率的な行政運営と財源の確保に取り組むことにより、本計画を着実に前進させ、将来にわたり持続可能なまちを目指します。

【後期基本計画】





<後期基本計画施策体系>

復興の 基本方針	施 策	取 組
I 夢と希望のある 産業と仕事づくり	施策1 農林水産業の再興	(1) 農業の再開 (2) 林業の再開・漁業の再開 (3) 魅力ある地場產品づくりと販売力強化 (4) 鳥獣被害対策
	施策2 新たな産業と雇用の創出	(1) 商工業の振興 (2) 企業誘致の推進 (3) 就労支援・人材育成 (4) 観光・交流の推進
II 未来を担う 人づくり	施策1 子育て環境・学校教育の充実	(1) 子育て環境の充実 (2) 学校教育の充実
	施策2 生涯学習環境の充実	(1) 生涯学習環境の充実 (2) 文化財保護・伝統芸能の継承
	施策3 震災の記憶の伝承	(1) 震災の記憶の伝承
III 帰還困難区域の再生と 住みよい環境づくり	施策1 帰還困難区域・特定復興再生拠点 区域の再生	(1) 帰還困難区域・特定復興再生拠点区域の再生
	施策2 社会基盤の維持・整備	(1) 浪江駅周辺を核とした中心市街地整備 (2) 上下水道の整備 (3) 交通網の充実
	施策3 防災・安全の強化	(1) 防災・安全の強化 (2) 防犯・防火・交通安全の強化
	施策4 ゼロカーボンシティの推進	(1) ゼロカーボンシティの推進
IV 健康と福祉の まちづくり	施策1 健康づくりの推進・医療の充実	(1) 健康づくりの推進・医療の充実
	施策2 介護・福祉の充実	(1) 介護・福祉の充実
	施策3 放射線による健康不安への対策	(1) 放射線による健康不安への対策 (2) 除染等の推進による安全対策
V 絆の維持と持続可 能なまちづくり	施策1 被災者生活支援・絆の維持	(1) 被災者生活支援 (2) 絆の維持
	施策2 移住・定住の推進	(1) 移住・定住の推進
	施策3 地域コミュニティ活動の推進	(1) 地域コミュニティ活動の推進
	施策4 復興を推進させる行財政運営	(1) 復興を推進させる行財政運営

夢と希望のある産業と仕事づくり

施策1 農林水産業の再興

先人から受け継いできた農山漁村の風景を再生するとともに、生産者が自信と誇りをもって働く環境づくりにより、農林水産業が盛んなまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 農業の再開

- ▶ 町内全域の農地を再生し、農業の再開を推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●作付面積(ha)	670	1,200

(3) 魅力ある地場産品づくりと販売力の強化

- ▶ 地場産品の魅力の発信と販売力の強化に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●道の駅販売額(千円/年)	679,913	780,000

(2) 林業の再開・漁業の再開

- ▶ 町の豊かな海、山、川を再生し、漁業・林業の再開を推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●森林整備済面積(ha)	148	400

(4) 鳥獣被害対策

- ▶ イノシシ等からの鳥獣被害の対策に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●有害鳥獣被害件数(住宅件数/年)	5	5

施策2 新たな産業と雇用の創出

新たな産業と雇用の創出を図るとともに、商工業の振興や観光交流の推進を図り、活気とにぎわいのあるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 商工業の振興

- ▶ 町内の事業再開・創業を支援し、町の商工業の振興に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●町内事業者数(事業者)	240	265

(3) 就労支援・人材育成

- ▶ 町内事業所の従業員の確保や、町内就労希望者への支援、将来の浪江町を担う人材の育成・確保に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●ハローワーク浪江町地域職業相談室相談件数(件/年)	602	850

(2) 企業誘致の推進

- ▶ 新たな産業の誘致を推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●産業団地への立地事業所数(事業所)	15	25

(4) 観光・交流の推進

- ▶ 町の賑わいを創出する様々なイベントの開催や町の魅力、復興の様子等の情報発信に取り組み、関係交流人口の拡大を推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●観光・交流イベント来場者数(人/年)	107,728	150,000

(画像等スペース)

(画像等スペース)

II 未来を担う人づくり

施策1 子育て環境・学校教育の充実

出産・子育て支援の充実や、豊かな学びの環境づくりにより、子どもたちの明るい笑顔のあふれるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 子育て環境の充実

- ▶ 子育て環境の充実により、子育てしやすいまちづくりに取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●認定こども園保育活動アンケートの評価(%)	61	85

(2) 学校教育の充実

- ▶ 学校教育の充実により、未来を担う人材の育成に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●学校教育活動アンケートの評価(点)	3	4

施策2 生涯学習環境の充実

芸術や文化に触れあえる機会の創出や、スポーツに親しめる環境づくりにより、生きがいを持って暮らせるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 生涯学習環境の充実

- ▶ 生涯学習に取り組める環境の充実により、町民の健康づくりと生きがいづくりを推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●芸術文化団体連絡協議会活動団体数(団体)	18	23

(2) 文化財保護・伝統芸能の継承

- ▶ 文化財保護・伝統芸能の継承支援により、町の豊かな文化の継承に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●民俗芸能活動団体数(団体)	5	5

施策3 震災の記憶の伝承

被災の記憶と教訓を次の世代や世界に向けて発信し、復興を通じた交流が盛んなまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 震災の記憶の伝承

- ▶ 震災の記憶の伝承に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●震災遺構来場者数(人/年)	71,941	82,000

(画像等スペース)

(画像等スペース)

III 帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり

施策1 帰還困難区域・特定復興再生拠点区域の再生

帰還困難区域全域の避難指示解除に向けて、全ての町民が生活できる環境の再生を目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 帰還困難区域・特定復興再生拠点区域の再生

- 特定復興再生拠点区域の整備を進めるとともに、全域避難指示解除に向けた取組を行います

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●立入規制緩和区域数(件)	0	10

施策2 社会基盤の維持・整備

上下水道や道路などのインフラ整備を推進するとともに、まちの顔である駅周辺を核とした中心市街地整備を推進し、快適で利便性の高いまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 浪江駅周辺を核とした中心市街地整備

- 生涯学習に取り組める環境の充実により、町民の健康づくりと生きがいづくりを推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●浪江駅周辺整備計画進捗率(事業費ベース)(%)	0	100

(3) 交通網の充実

- 町内の道路整備や公共交通の充実により、便利で機能的なまちづくりに取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●公共交通空白(区域／時間帯)	18時以降の公共交通がない	18時以降の公共交通がある

(2) 上下水道の整備

- 町民が安全、安心な水を、安定して使えるように取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●漏水等の緊急断水、排水停止件数(件/年)	5	5

施策3 防災・安全の強化

震災から得た教訓を生かした防災体制の強化や、警察署や消防署等の関係機関との連携を推進し、安全に暮らせるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 防災・安全の強化

- 震災の教訓を生かした防災・安全のまちづくりに取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●防災訓練の参加者数(人/年)	70	150

(2) 防犯・防火・交通安全の強化

- 町民が安全、安心な水を、安定して使えるように取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●消防団員数(町内居住者)(人)	85	110

施策4 ゼロカーボンシティの推進

再生可能エネルギーや水素などの新エネルギーの導入や、効率よくエネルギー資源を活用する取組を推進することにより、原子力に依存せず二酸化炭素の排出量実質ゼロの環境にやさしいまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) ゼロカーボンシティの推進

- ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーの地産地消や水素の利用等を推進します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●脱炭素に向けた連携事業数(合計)	134	157

(画像等スペース)

IV 健康と福祉のまちづくり

施策1 健康づくりの推進・医療の充実

総合的な保健サービスの提供や、地域医療体制の充実に努めることにより、心身ともに健康で元気なまちを目指します。

(画像等スペース)

▶ 取組と主な成果指標

(1) 健康づくりの推進・医療の充実

- ▶ 町民の健康づくりの推進と町内の医療の充実に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●周辺医療機関との提携数(合計 年/件)	161	175

施策2 介護・福祉の充実

介護・福祉サービスの充実に努めることにより、高齢者や障がいのある人を含め、全ての町民がふれあい、支えあい、地域社会の中で安心して活動できる、思いやりのあふれるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 介護・福祉の充実

- ▶ 高齢者等が安心して生活できるよう、介護、生活支援など切れ目のない福祉サービスの充実に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●高齢者等の訪問回数(件/年)	479	500

施策3 放射線による健康不安への対策

放射線による健康上の不安解消に努めることにより、安心して暮らせるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 放射線による健康不安への対策

- ▶ 放射線による健康への影響等の不安解消に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●D-シャトルの貸出数(個)	236	150

(2) 除染等の推進による安全対策

- ▶ 除染等を着実に推進し、不安解消に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●仮置場数(箇所)	6	1

(画像等スペース)

(画像等スペース)

V 絆の維持と持続可能なまちづくり

施策1 被災者生活支援・絆の維持

生活再建の支援の継続や、まちとの絆づくり、復興の様子等の情報発信に努めることにより、町民との絆を大切にするまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 被災者生活支援

- ▶ 居住地にとらわれない生活および生活再建に向けた支援の継続に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●出張所来所件数(人/年)	21,568	16,900

(画像等スペース)

(2) 絆の維持

- ▶ 町民と町民・ふるさとをつなぐ絆の維持に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●復興コミュニティ事業活動支援団体数(団体)	34	34

施策2 移住・定住の推進

本町への興味関心からはじまり交流や体験を通して、移住・定住の取組を推進し、町内の居住人口が増加していくまち、住んでみたいまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 移住・定住の推進

- ▶ 町民の帰還支援と、町への移住・定住を推進させる支援に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●移住者数(累計)(人)	147	600

(画像等スペース)

施策3 地域コミュニティ活動の推進

行政区等コミュニティ団体の活動の活性化を図り、行政と町民が協働でまちづくりを推進し、町民が主役となるまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 地域コミュニティ活動の推進

- ▶ 地域でのコミュニティ活動を支援します

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●コミュニティ活動補助件数	7	10

施策4 復興を推進させる行財政運営

効率的な行政運営と財源の確保に取り組むことにより、本計画を着実に前進させ、将来にわたり持続可能なまちを目指します。

▶ 取組と主な成果指標

(1) 復興を推進させる行財政運営

- ▶ 復興を支える人材や財源の確保に取り組みます

成果指標	現状値(R6)	目標値(R12)
●ふるさと納税寄附件数(件/年)	622	970

(裏表紙)